

令和6年度 第1回琉球大学動物実験委員会議事要旨

日 時：令和6年11月26日(火) 17:00～17:43

場 所：大学本部棟4階第一会議室（オンライン Zoom 会議と併用）

出席者：木暮委員長、原嶋委員（保健学研究科）、稲福委員（農学研究科）、波平委員（農学研究科）、竹村委員（理工学研究科）、市瀬委員（医学部附属動物実験施設）、小野寺委員（教育学部）、内藤委員（農学部）、新垣委員（理学部）、徳田委員（熱帯生物圏研究センター）、辻委員（博物館（風樹館））、高山委員（医学部附属動物実験施設）、赤嶺委員（農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター）、松田委員（施設運営部）

1 審議事項

（1）2023年度の動物実験等実施に関する自己点検・評価について

市瀬委員から、資料1-1に基づき、2023年度の自己点検・評価報告書（案）について説明があり、原案のとおり承認された。

以下の点について、継続して検討する必要がある旨確認した。

- ・動物種ごとの飼養保管手順書（マニュアル）の作成
- ・大学全体及び部局・飼養保管施設ごとの動物に関する緊急対応マニュアルの作成

（2）琉球大学動物実験委員会施設ワーキンググループ運営・活動実施要項（案）について

事務担当者から、資料1-2に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

また、委員から定足数についての確認があったが、ワーキンググループは、調査のみを行い、決定は委員会で行われる旨説明があった。

補足して、医学部移転に際して、1、2月に調査を行い、委員会承認を経て3月中旬から移転を行う予定の旨、説明があった。

2 報告事項

（1）文部科学省研究振興局ライフサイエンス課から依頼のあった「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」等の遵守状況に関する調査について

市瀬委員から、資料2-1に基づき説明があった。飼育マニュアルに加えて、緊急時対応マニュアルの作成の必要性について説明があった。

（2）緊急時対応マニュアルについて

市瀬委員から、資料2-2に基づき説明があった。緊急時対応マニュアルについて、医学部で整理し、それに基づいて全学も合わせて整備していく方向との説明があった。

3 その他

特になし。

以上